

# 誰もがウエルビーアイニングを 感じられるまちへ

市長 米本 弥一郎

明けましておめでとうございます。

市民の皆さんには、新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、1市3町の合併から20周年という大きな節目の年がありました。

8月の大相撲旭場所をはじめ、多彩な記念事業を開催したほか、11月には記念式典を挙行し、市内外から多くの方々に参列をいただきました。

昨年4月には第3期旭市総合戦略がスタートし、将来都市像に掲げた「みんなで創る未来」の実現に向けて各施策を実施しました。学校給食費の完全無償化、ふたば保育所や消防本部東部分署の竣工、

小児科・産婦人科オンライン

ン医療相談の開始、デジタル技術の活用促進、防災行政無線の整備、そして「第3期旭市の教育に関する大綱」に基づく教育の充実など、幅広い分野で力強い一步を踏み出すことができたと感じています。

本年は、第3期旭市総合戦略に沿って各施策を本格的に展開する年となります。若者や子育て世代への支援、医療・福祉の充実、成田空港の機能強化に伴う経済・産業の活性化、飯岡漁港を中心とした海業の推進、銚子連絡道路の整備促進、防災・減災対策の強化、初の統合小学校となる「ひかた椿小学校」の開校準備などの主要事業に加え、令和9年に開催される「全国豊かな海づくり大会」に向けた準備などを進めてまいります。

持続可能なまちづくりを進めるためには、市民や事業者の皆さまの力が欠かせません。これからも「チーム旭でまちづくり」を合言葉に、市民の皆さま一人一人が「ウエルビーアイニング」を実感できるまちを目指し、官民一体で地域の活性化に取り組んでまいります。結びに、本年が希望と活力に満ちあふれ、実り多き一年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

